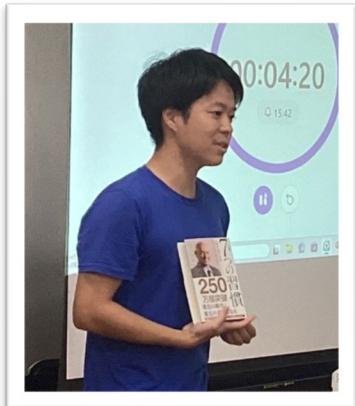
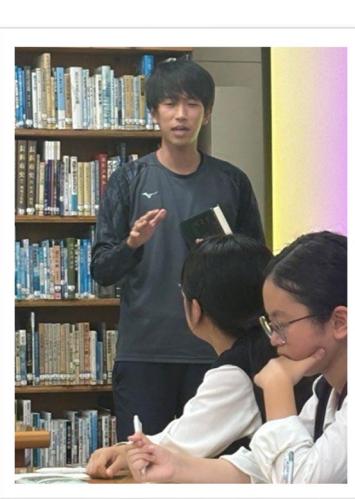
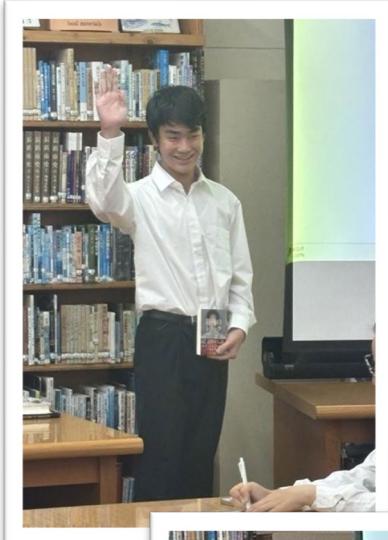


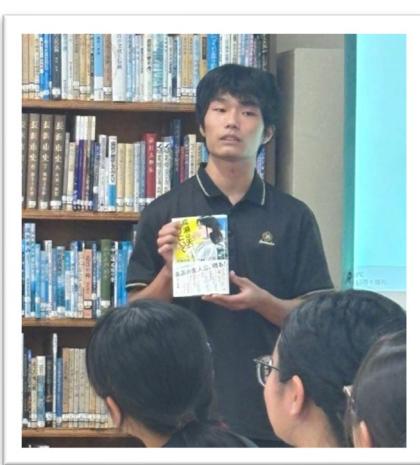
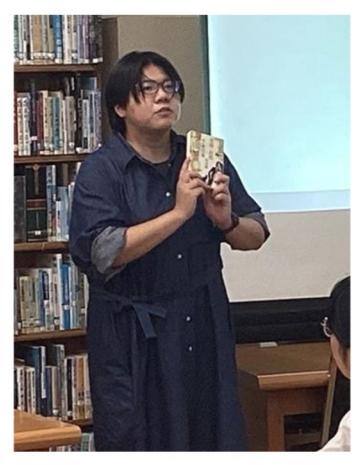
# 虎姫高校読書週間 2025.9.22~2025.10.3

図書委員によるビブリオバトルは、今年度で3回目になります。今年度は、先生4人と、2年生1人がバトラーとして出場してくれました。観戦者とのディスカッションも活発に行われ、和気あいあいとした楽しいビブリオバトルになりました。司会進行、タイマーなどは、図書委員の企画係が行いました。見事チャンプ本に輝いたのは、唯一の生徒バトラー・関本さん(2年生)が紹介してくれた『最後のトリック』 深水黎一郎:著(河出書房新社)でした!

図書委員会主催  
ビブリオバトル 2025  
9/22 放課後



出場者と図書委員で記念撮影。出場者の皆さんには、委員が作ったブックバーとしおりを、お礼に差し上げました。



## 当日紹介された本

### 大友陸人先生の紹介本

『完訳7つの習慣』スティーブン・R・コヴィー:著(キングペア出版)

### 古市裕貴先生の紹介本

『C線上のアリア』湊かなえ:著(朝日新聞出版)

### 田中鈴夏先生の紹介本

『黒猫の刹那あるいは卒論指導』森晶磨:著(早川書房)

### 関本雅也さん(2年生)の紹介本

★『最後のトリック』深水黎一郎:著(河出書房新社)

### 吉川典輝先生の紹介本

『成瀬は天下を取りにいく』宮島未奈:著(新潮社)



## 吹奏楽部 アンサンブルコンサート 9/29 放課後

昨年度に引き続き、吹奏楽部のアンサンブルコンサートを、図書館で開催しました！ 今年度は「昭和100年」について、「昭和」の歌謡曲やアニメソングなどを中心に、演奏してもらいました。

図書館でも、「昭和」をテーマにした特集展示を行っており、コンサート当日は各テーブルにそれらの本を数冊ずつ置いて、耳と目で「昭和」を体感できるコンサートになるよう、工夫しました。今年もたくさん的人が鑑賞に来てくれ、大いに盛り上りました！



特集展示「昭和ってどんな時代？」



当日の演目は、以下のとおりです。

- ♪ 「青い珊瑚礁」（フルート）
- ♪ 「やさしさに包まれたなら」（クラリネット）
- ♪ 「YOUNG MAN」（金管）
- ♪ 「上を向いて歩こう」（金管）
- ♪ 「宇宙戦艦ヤマト」（サックス）
- ♪ 「ジブリセレクションvol.2」（打楽器）



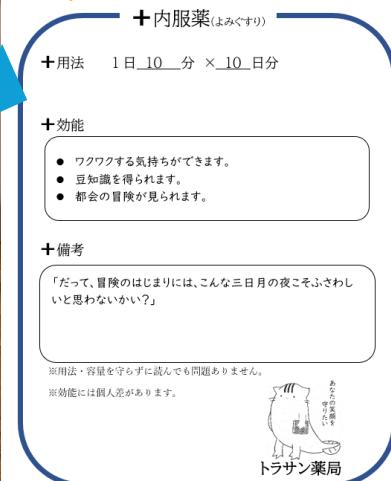
## 図書委員が処方しました！ “よみぐすり”



図書委員会では毎年、本を袋の中に入れ、何の本か分からず状態で借りてもらう「覆面貸出」を行っています。図書館を出るまで、何の本を借りたのか分からずというドキドキ感が得られて、利用者からも好評です。今年度は「よみぐすり」と称して、本を薬に、封筒を薬袋に見立てて展示しました。全学年の図書委員で取り組みました。



薬袋には、「用法」として「1日〇分〇日間」で読み切れるか、また読んで得られる「効能」などが書かれています。「備考」欄には、本から印象に残った文章を抜き出してもらいました。展示後は答え合わせもかねて、「お薬手帳」を作成する予定です。



## 感覚だけで重さを当てよう “グラムチャレンジ”

今年度初めての企画、グラムチャレンジ。ぴったり400グラムの本を見本に、手の感覚だけで、5冊並んだ本の中から〇〇グラムの本を当てよう、という企画です。

正解者には、虎高図書館オリジナルキャラクター「トラサン」のブックカバーか葉をプレゼント。何度もチャレンジできるように、読書期間中、図書委員が数日おきに本を入れ替えました！



## 雑誌バックナンバー 頒布会 10/3 曜休み

虎高図書館オリジナルキャラクター「トラサン」のブックカバーは大好評！



読書週間最終日には、保存期間の切れた雑誌のバックナンバーを、自由に持て帰れる「雑誌バックナンバー頒布会」を開催しました。お目当ての雑誌がある人は、お弁当を食べるより先に駆け込んで来ます。